



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2335



ガバナー公式訪問 銚子・銚子東RC合同例会

移動例会

第2335回 例会 令和2年9月15日

点 鐘 … 石毛 園子 会長

ロータリーソング … それでこそロータリー

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 石毛 園子 会長

幹 事 報 告 … 石毛 正明 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

「観月会」犬吠埼ホテル

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

9月22日(火) 休会(祝日)

次回のプログラム(令和2年9月29日)

卓 話

「米山DVD鑑賞」 米山記念奨学委員会

第3回定例理事会(例会終了後)

お食事「川元」



Rotary Opens Opportunities

ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度 RI会長 ホルガー・クナーク



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) **真実**かどうか
- 2) **みんなに公平**か
- 3) **好意と友情**を深めるか
- 4) **みんなのためになる**かどうか

第 2334 回例会(令和 2 年 9 月 9 日)

会長挨拶

石毛 園子

本日は、2020-2021 年度国際ロータリー第 2790 地区ガバナー漆原 撰子様をお迎えして、銚子ロータリークラブとの合同例会です。



漆原ガバナーはじめ地区幹事長 吉田様、副幹事長 中村様、遠路銚子へお越しいただきありがとうございます。そして第 8 グループガバナー補佐 大塚様、補佐幹事 鈴木様にもおいでいただきました。

漆原ガバナーには、後ほど卓話をお願いいたします。

さて、銚子東ロータリークラブは、来年度 50 周年を迎えます。この 50 年の始まりは、銚子ロータリークラブ 15 周年の記念事業でした。先週、銚子東クラブでは名誉会員の大内恭平氏に卓話をしていただきましたが、そのお話の中でこの事業のことにも触れられていました。ご存じのように大内会員はその当時銚子ロータリークラブの幹事でしたが、銚子東ロータリークラブのチャーターメンバーとなり、第 1 代会長網中喜一郎氏・幹事大内恭平氏でスタートしました。大内氏のロータリアン人生 50 年のお話を聞き、この 1 年は単に 365 日の時間の経過ではなく、48 年間の 1 日 1 日の続きにこの 1 年が存在し、次の 1 年につなげていく責任が私にはあるのだと改めて感じた次第です。

本日お越しいただいた漆原ガバナーは、2018 年 1 月に銚子ロータリークラブと銚子東ロータリークラブとの合同例会の際にも銚子においでになり、当時ガバナーノミニージェグネイトとして卓話をされました事を鮮明に覚えています。当時の私は、ロータリー=男性中心の世界と勝手に考えていたため女性のガバナー候補者であった事が一番の驚きでした。また、卓話の中で披露されたロータリーに入ってからの様々な活動も興味深く拝聴いたしました。

本日の公式訪問におけるガバナーのお話を今後のクラ

ブ運営に活かしていきたいと思っております。
よろしくお願いいたします。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・2020 年 9 月 基本的教育と識字率向上月間 | リソースのご案内
 - ・9 月ロータリーレートのお知らせ 1 \$ = 106 円
 - ・管理運営統括委員会 三委員会合同セミナーのご案内
 - ・米山奨学生卓話のお願い 受領
- 2・ガバナーエレクト梶原等様より
 - 活動計画書送付のお礼 受領
- 3・銚子市陸上競技協会より
 - 第 72 回中学校・第 3 回中学校女子 銚子半島一周駅伝大会の開催中止のお知らせ 受領
- 4・例会変更のお知らせ
 - 小見川 RC より
 - 9/2(水)・16(水) 例会 18:30~19:00
 - 9/9(水)・23(水)・30(水)
 - 定款第 8 条第 1 節(c)により休会
 - 9/29(火)「多古コミュニティプラザ」
 - ガバナー公式訪問(多古 RC 合同例会) 受領

卓話

「公式訪問卓話」

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー 漆原 撰子 氏

銚子東・銚子ロータリークラブの皆様、こんにちは、本年度ガバナーを仰せつかっております、勝浦 RC 所属



の漆原撰子と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。またこのコロナ禍の中、このように公式訪問例会を開催していただき、卓話の機会を得ましたこと、心より御礼を申し上げます。調整にあたっていただきました大塚ガバナー補佐にも感謝でございます。

私がガバナーノミニージェグネイトとなりました 2018 年に、両クラブの合同夜間例会に吉田幹事長と共に お招きいただき、卓話の機会をいただきましたこと、並びに懇親会では楽しくスキャットも拝見致しましたこと、懐かしく思い出しております。時の流れは早いものですね。

それでは卓話に移らせていただきます。直近開催の

R I 理事会において、今年度の強調事項が3点発表になりました。

- 1、新型コロナパンデミックに対する奉仕活動に、積極的に取り組もうということ。
- 2、まずは現状の会員の維持。
- 3、このような状況下、オンラインツールを利用した会合（理事会や例会、委員会など）に慣れて、積極的に活用しようということ。ただし、オンラインに不慣れな会員さんを取り残すことのないようにお願いします。

また、R I 理事会とR財団管理委員会は、7つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この環境の保全は、グローバル補助金によって実施される奉仕活動や平和フェローのひとつに加わります。この申請は来年、2021年7月1日からとなります。

改めてご紹介致します、今年度のR I 会長であるホルガー・クナーク氏、ドイツからは初めてのR I 会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。

さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されているなどと思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義だと思います。そしてロータリーのビジネス倫理や親睦や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。

コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそR再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常（ニューノーマル）」に適応することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにと強調されました。これは今年1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので、内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、R I 会長の指示でございますので、お話をさせていただきます。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言わ

れています。こちらには千葉科学大学を基盤としたローターアクトクラブが既に存在していますし、会員数も県下では最多の20名と立派に活動されていることに感謝申し上げます。このような若い人たちの活動は地域社会において、周囲により大きなインパクトを与え、賛同して参加したいと思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この2つは、R I の4つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えるべきです。会員一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかわりを促すという、R I の4つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。戦略計画委員会というものがないクラブでも、少なくとも理事会において、クラブの現在そして未来を考えていただきたいと思います。

3. 新会員を慎重に選びましょう。

クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら一生ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。即ち、既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より微増と思われる。今一度クラブ内を見渡していただき、コロナ禍により事業継続が厳しく、退会を検討している会員には、規定審議会を経て柔軟性が導入された標準ロータリー定款への適応力を高め（これもR I の4つの行動計画のひとつです）、会員身分や出席に関する例外を細則に適用し、クラブに留まっていたいただくことも一考です。まずは今の大切な仲間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

こちらは、私たちが30年以上にわたり取り組んでまいりました、ポリオ根絶運動を周囲にお伝えし、広く支援者・賛同者の輪を広げる目的です。世界ポリオデーは毎年10月24日ですが、昨年は世界中で5600件以上のイベントが実施されました。現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国ですが、コロナ禍のためにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増してい

ます。一方、ロータリーが今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在はコロナ感染拡大の防止に利用してもらうことで、支援を続けています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。RIの4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えています。10月のイベントについては、皆様の健康安全を第一に、ご無理のないようお願い致します。

それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。YouTubeでの地区研修協議会でもお話致しましたが、今年には日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思います。

奉仕の理念、The Ideal of Service、つまりサービスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、RI事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。そしてこれを実践するということは、先程から話に出ております、RIの4つの行動計画のローテーションのスタートなのです。

他人のためになることをする、The Ideal Of Serviceの実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のRへの公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。多様な参加者のアイデアに丁寧な耳を傾け取り入れることで、その参加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次のThe Ideal of Serviceの実践に取り組むことでしょう。依然コロナ禍により通常のような行動がとりにくい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略計画をもって、この4つを繰り返し続けることで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと考えます。

クラブの会長さんには、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この4つの行動計画を展開をお願い申し上げます。またクラブの各委員長の皆様は、この図の中で、それぞれの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブR財団委員

会・米山記念奨学会委員会の委員長の皆様におかれましては、The Ideal of Serviceを実施するための寄付推進、ならびに「世界でよいことをするための」人材育成にご尽力をいただければと思っております。

さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高め柔軟に対応することや、多様性を受け入れましょうと申し上げて参りました。一方RIは、ロータリーの基本理念は不変であると言いつけています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。

ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。

また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に違背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画（中長期的計画）をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。

さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものがあります。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話ししました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビジョン声明の実現につながるものと信じております。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切にし、自分が周囲に役立つ人間になる」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、ロータリーの5大奉仕部門においては仲間と親睦を深めながらその実践に役立つような人間を目指すこと、

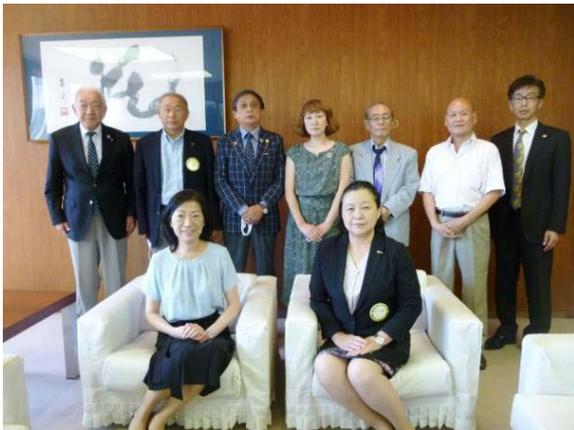
ロータリークラブだからこそ、そのような人づくりが出来るのです。私自身としては、ロータリーって何?と問われたときに、「私自身です」と答えられるような、そんな人間を目指しています。自分を磨き、家庭や事業、地域や世界で、よいことをするための多くの扉を開いていただけますようお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。



合同例会 12:30~13:30



ガバナー公式訪問懇談会 10:45~11:30



——ニコニコ——

第8グループガバナー補佐 大塚榮一様

合同公式訪問、宜しくお願ひ致します。

銚子RC 田中英子会長・高瀬幸雄幹事

銚子東RC 石毛園子会長・石毛正明幹事

漆原ガバナー・吉田幹事長・中村副幹事長、ようこそ銚子においで頂きありがとうございます。

本日の卓話宜しくお願ひ申し上げます。

臨時理事会開催及び持回り決議 議事録

日 時 令和2年9月14日(火) 10:50

通知方法 事務局よりファクシミリにて送信

議 題

1・9月第4例会スケジュール変更の件

第4例会 9月29日(火)卓話者変更

山田 誠 会員

→米山記念奨学委員会「米山DVD鑑賞」

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

本日の「上機嫌な言葉」紹介

9月9日

男は小さい嘘をつくが、大きい嘘はつかない。大きな嘘のときは、ただ沈黙あるのみだから。

(田辺聖子著・上機嫌な言葉 366日より)

前回の例会(9/9)報告

点 鐘 石毛 園子 会長

出席報告

会員総数 31名 出席規定除外数 5名

出席者 16名 出席率 57.14%

8月25日 確定出席率 60.71%

来訪ロータリアン

第2790地区ガバナー 漆原摂子氏

地区幹事長 吉田理愛氏

地区副幹事長 中村 満氏 (勝浦RC)

第8グループガバナー補佐 大塚榮一氏

補佐幹事 鈴木勝也氏 (八日市場RC)

欠席者 12名

メイクアップ

石毛(園)君 (9/11第8G会長幹事会)

川津君 (9/12R財団セミナー)

スモールコインBOX

累計 ¥ 12,820-

ニコニコBOX

小計 ¥ 10,500-

累計 ¥ 46,500-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 石毛園子 副会長 宮内勝利 幹事 石毛正明

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 杉山正躬・宮内 博・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古帳庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。